

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生学 I	1 年次	必修	講義	1 単位（30時間）	木村 幸一郎
授 業 概 要					
<ul style="list-style-type: none"> 地球環境、健康の保持、予防医学の重要性を認識し、公衆衛生分野の検査などについて学習する。 					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> 衛生学、公衆衛生学の変貌と地球環境・人口の変貌を理解し、公害問題から自然・生活環境問題へと変化している中で、「健康とは何か、いかに対処すべきか」を解決する知識を理解し、説明できる。 時代の流れを汲みとって、その時の社会の問題点を正しく理解し、説明できる。 					
実務経験のある教員					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1	公衆衛生の意義（公衆衛生の定義・医学の歴史の変遷）				木村 幸一郎
2	公衆衛生の意義（医療技術の歴史・医の倫理）				
3	保健統計（健康指標・人口静態統計）				
4	保健統計（人口動態統計・死因統計・疾病統計）				
5	疫学（疫学概念・疫学の指標）				
6	疫学（疫学的分析法）				
7	疫学（疫学的分析法の実践）				
8	疾病予防と健康管理（予防医学・成人保健）				
9	疾病予防と健康管理（栄養保健・健康増進法）				
10	主な疾病の予防（感染症対策・予防接種法）				
11	主な疾病の予防（食品安全および食品衛生）				
12	主な疾病の予防（循環器・がん・腎疾患）				
13	環境保健（地球環境・生活環境）				
14	環境保健（物理環境・化学環境・生物環境・水の衛生）				
15	環境保健（環境リスクの評価・環境検査法）				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生学は幅広い領域にわたるため、学んだことを関連付け、しっかりと復習して理解すること。 不明な点は必ずその場で解決すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> 講義開始時又は終了時に小テストを不定期に実施する。 遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は本人からの申し出により追試験を実施することがある。 定期試験(70%)及び小テスト(30%)により評価する。 再試験では小テストの再評価はしない。 					
先 修 科 目					
先 修 科 目					
教 科 書 、 参 考 書					
[教科書] 公衆衛生がみえる 医療情報科学研究所 MEDIC MEDIA シンプル衛生公衆衛生学 鈴木庄亮 他 南江堂 [資料] 配付資料					